

これからのさいたま市を考える市民ワークショップ  
「市への提言」


平成23年11月  
市民ワークショップ参加メンバー一同

# これからのさいたま市を考える市民ワークショップ「市への提言」

## 目次

---

(1) はじめに		
1. 市民ワークショップの目的	.....	3
2. 参加メンバーの構成	.....	4
3. 検討経過	.....	6
4. 提言の具体化に向けて	.....	7
(2) 各グループからの「市への提言」		
1. 福祉・健康グループ	「高齢者や障害のある人など、誰もが健やかに安心して暮らせる都市」	8
2. 子育て・教育グループ	「子育てを応援し、豊かな人間性と健全な社会性を身につけた次世代を担う子どもが育つ都市」	22
3. 産業グループ	「産業の活力を高め、躍動する都市」	32
4. 環境グループ	「安らぎと潤いのある生活環境の実現」	43
5. 都市基盤グループ	「人や環境に配慮した質の高い都市基盤の形成」	58
6. 安全グループ	「安全に暮らせる都市の実現」	68
(3) 参加メンバーの“まちづくりへの想い”・“実現したい姿”	.....	80



これからのさいたま市を考える市民ワークショップ  
(1) はじめに



# 1. 市民ワークショップの目的

---

## (1) 実施目的

- ◆ この市民ワークショップは、平成26年度から平成32年度までを計画期間とする総合振興計画次期基本計画の策定に向けて、市民の目線から将来に向けたまちづくりのあり方を検討し、その結果を市へ提言することを目的として、開催されたものです。

## (2) 実施方法

- ◆ 将来に向けたまちづくりのあり方を市民の目線から検討するために、“ワークショップ”形式で検討を進めました。
- ◆ この提言書「市への提言」は、市民ワークショップにおいて検討した、さいたま市の抱える「課題」や今後推進すべき「基本的取組」を取りまとめた成果です。

ワークショップとは…参加メンバーがまちづくりや計画策定という共通目標の達成に向けて課題や情報を共有し、お互いの立場や多様な意見を尊重・理解し合いながら交流することにより、解決策や提案をまとめていくという参加・体験型の検討作業の場です。

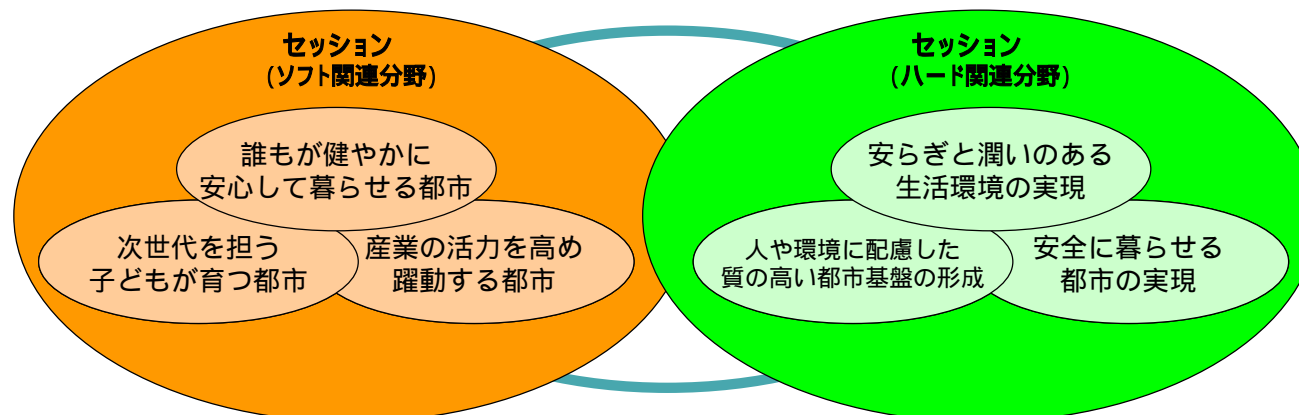
## 2. 参加メンバーの構成 (1 / 2)

### (1) 参加メンバーの構成

- ◆ 参加メンバーは、市が無作為抽出により参加を呼び掛け、それに応じた27名の市民で構成されています。

### (2) 検討体制

- ◆ 検討に当たっては、ソフト関連分野を中心とした「セッション」とハード関連分野を中心とした「セッション」の二部構成とし、参加メンバーはセッションごとに3つのグループに分かれて検討を進めました。



## 2. 参加メンバーの構成 (2 / 2)

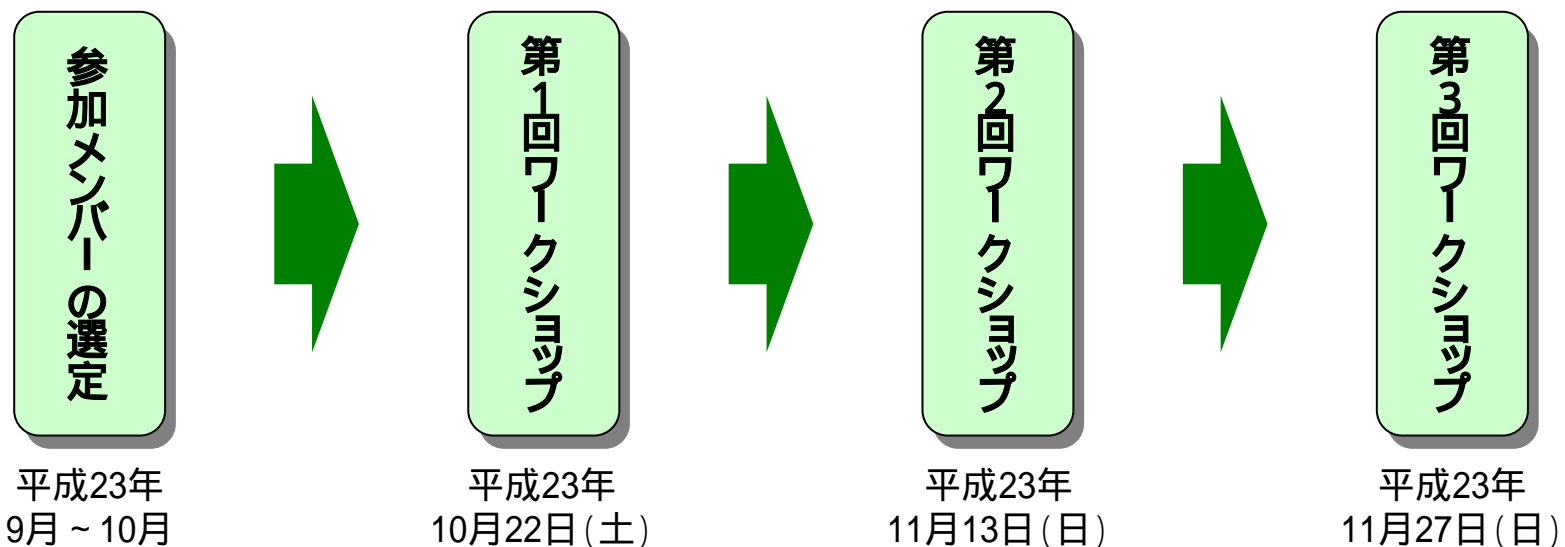
### (3) グループ編成と検討テーマ

	グループ名	検討テーマ	関連する行政分野	メンバー数
セッション	福祉・健康グループ	高齢者や障害のある人など、誰もが健やかに安心して暮らせる都市	高齢福祉、障害福祉、健康、スポーツ	9名
	子育て・教育グループ	子育てを応援し、豊かな人間性と健全な社会性を身につけた次世代を担う子どもが育つ都市	学校教育、子育て支援、男女共同参画、多文化共生、歴史・文化、生涯学習	9名
	産業グループ	産業の活力を高め、躍動する都市	雇用・就労、新産業育成、商業・観光	9名
セッション	環境グループ	安らぎと潤いのある生活環境の実現	街並み・住環境、水と緑、環境負荷軽減	10名
	都市基盤グループ	人や環境に配慮した質の高い都市基盤の形成	市街地整備、道路・交通、高度情報化	8名
	安全グループ	安全に暮らせる都市の実現	防災、防犯、地域コミュニティ	9名

## 3. 検討経過

### 市民ワークショップの検討経過

- ◆ 第1回ワークショップでは、各テーマに沿った「さいたま市の強み・弱み」を洗い出し、第2回ワークショップでは、「強みを伸ばし・弱みを改善するための基本的取組」を検討しました。
- ◆ 第3回ワークショップでは、第1回及び第2回のワークショップにおける検討内容を「市への提言」として取りまとめ、市長に対して発表・提出しました。





## 4 . 提言の具体化に向けて

---

### 提言の具体化に向けて

- ◆ この提言書は、参加メンバーが分野別のグループに分かれ、それぞれが日頃から感じている問題意識や、さいたま市のまちづくりに対する思いなどを共有しながら、市民の目線から将来に向けたまちづくりのあり方を検討し、その結果を取りまとめたものです。
- ◆ 取りまとめの過程では、市が設置しているインターネット市民モニター制度を活用し、モニターの方々の意見やアイデアも参考にしながら、検討を行いました。
- ◆ 総合振興計画次期基本計画の策定に当たっては、参加メンバーのさいたま市に対する思いが詰まった、この提言書の提言内容を真摯に受けとめていただき、計画の策定過程において活用されることを望みます。